

取り付けかた

●施工手順

※下図は取り扱いを説明するための代表器具の施工例です。製品により施工手順は異なります。

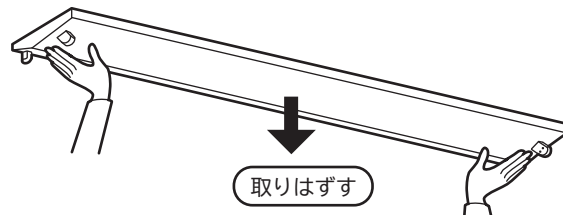
1. 既設ランプ、反射板の取りはずし

- 電源を切ってから、既設器具のランプ、反射板を取りはずしてください。



注意

必ず電源を切る。
※感電の原因となります。



2. 既設安定器、ソケットの取りはずし

- 電源線を切断してください。（再接続できるように切断長さを考慮してください。）
- 安定器などの回路部品、電線、ソケットを取りはずしてください。

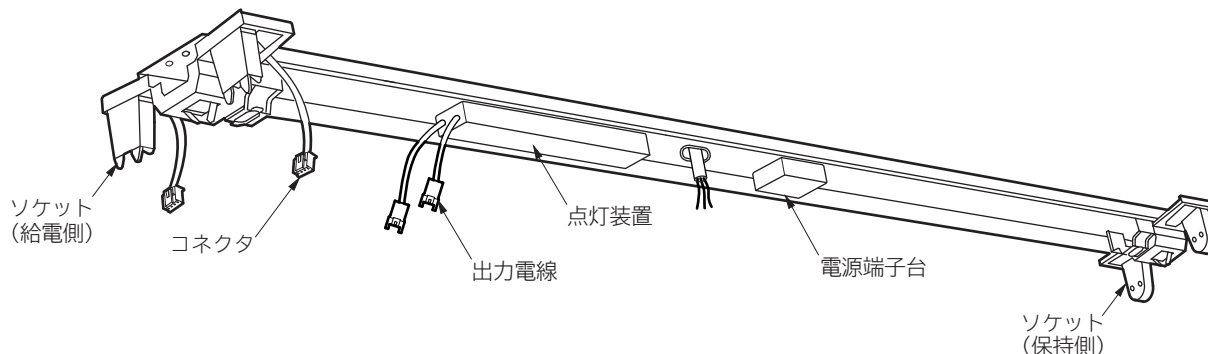
3. 点灯装置・電源端子台・ソケットの取り付け

①点灯装置・電源端子台の取り付け

- 既設器具本体の空いたスペースに下記を考慮して点灯装置、電源端子台（金具付）を配置してください。
点灯装置・・・給電側ソケットと出力電線が接続できる位置。
電源端子台・・・電源線が接続でき、また器具本体とアースの導通が取れる位置。
- 各々配置が決定したら、ねじ等を使用してはずれないように確実に器具本体に固定してください。

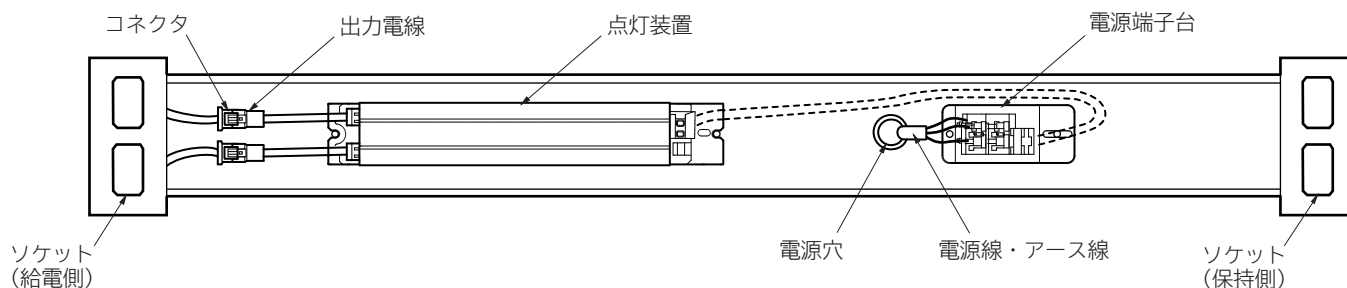
②ソケットの取り付け

- 付属のソケット（給電側、保持側）を取り付けてください。
※給電側ソケットは点灯装置の出力電線側に配置してください。



4. 結 線

- 点灯装置の出力電線とソケット（給電側）コネクタを接続してください。
- 電源線、アース線をストリップ（12±2mm）し、電源端子台に接続してください。（適合電線：φ1.6 φ2.0単線）
- 反射板を取り付ける際など電線を挟み込まないように、余分な電線を器具本体内に収納してください。



5. 反射板の取り付け

- 器具本体に反射板を取り付けてください。